

Kawasaki Journal of Medical Welfare (英文誌) 執筆規程

(Vol. 24, no. 1 より適用)

1. 原稿の書式

原稿は英語で作成する（ただし表紙と図表一覧については日本語表記を基本としてもよい）。ワープロソフトを使用し、A4判の用紙にダブルスペースで印字する。文字の大きさは10～11ポイント程度とし、上下左右に十分な余白を設ける。なお、投稿予定者には事務局より原稿のテンプレートを提供するので、査読の便を図るため、可能な限り所定のテンプレートを用いて作成すること。

2. 原稿の分量

要約の語数および掲載時の枚数（要約、図表および引用文献等のすべてを含む刷り上がり時の分量）は、下表のとおりとする（刷り上がり原稿はA4判で、1頁は見出しや図表がない場合で半角106字×48行）。規定の分量を大幅に超えて投稿された場合、査読に先だて短縮を求められることがある。

投稿区分（原稿の種類）	要約の語数	刷り上がり時のページ数
総説（Review article）	100～200 語程度	12 ページ以内
論説（Essay）	100～200 語程度	12 ページ以内
原著（Original paper）	100～200 語程度	12 ページ以内
短報（Short report）	50～100 語程度	8 ページ以内
資料（Material）	50～200 語程度	12 ページ以内
症例報告／事例報告（Case report）	50～200 語程度	12 ページ以内

3. 原稿の構成

原稿は、表紙、要約、本文（脚注等を含む）、文献、図表、図表一覧より構成する。なお、原稿の前に、投稿承諾書と査読希望用紙を添付する。

3.1 表紙

表紙には以下の項目を順に記載する。なお、著者名は表紙以外には記載しない。

(1) 投稿原稿の区分

総説, 論説, 原著, 短報, 資料, 症例報告／事例報告

(2) 表題（冠詞と前置詞を除き語頭は大文字で始める）

例) Analysis of Visual Information Processing by Event Related Potential (ERP)

(3) **ランニングタイトル** (12 語以内かつ 50 文字以内)

(4) **Key words** (5 つ以内とし, 検査名等以外は小文字で始める)

例) mental hospital, Rorschach test, graphical user interface (GUI)

(5) **原稿枚数 総頁数** ____枚 (※以下の全てを含める)

表紙	____枚	文献	____枚
要約	____枚	図表	____枚
本文	____枚	図表一覧	____枚

(6) **別刷の希望数, および表紙の有無**

希望する部数を 10 部単位で記載する。また, 別刷に表紙が必要かどうかを明示する (表紙なし・30 部まで無料)。

(7) **著者名, 所属** (全員について列記)

所属が 2 ヶ所以上の場合は, 著者名および所属名の各々右肩に番号を割り振ること。

例) Kiyoko FUKAI^{*1}, Akiko NIIMI^{*2} and Miho TANAKA^{*2}

^{*1}Department of Nursing, Faculty of Medical Welfare, Kawasaki University of Medical Welfare

^{*2} Faculty of Nursing, Kawasaki Medical College

(8) **代表著者及び連絡先** (投稿原稿の内容についての問い合わせ先)

氏名, 住所, 電話, メールアドレスを記載する。

例) Kiyoko FUKAI

Department of Nursing, Faculty of Medical Welfare

Kawasaki University of Medical Welfare

Kurashiki, 701-0193, Japan

Phone: 086-462-1111 (Ext. 540**), *****@mw.kawasaki-m.ac.jp

3.2 要約

本規程 2 の語数により, 論文全体の要約を記載する。

原則として複数のパラグラフに分けず, 全体として 1 パラグラフの文章とする。「導入」「方法」等の見出しは付けない。作成方法が不明の場合は、『APA 論文作成マニュアル』等を参照すること。

3.3 本文

本文については, 以下の規定に従うものとする。

(1) 文章

本誌は広く医療福祉分野に関係する読者が対象となるので、できるだけ多くの読者が理解できるように、平易な文章で記述し、論理的で正確、簡潔で明瞭な科学論文とする。なお、専門家による英文校閲を経ていることを原則とする（英語の誤りが多い場合、査読に先だって差し戻しをおこなうことがある）。

(2) 略語

略語は、広く一般的に使用されているもの以外は使用しない。やむを得ず使用する場合には、最初に出たところで原語を記載し、その後括弧をつけて略語を記載する。

(3) 構成

構成は、緒言、方法、結果、考察、文献、…等、またはこれに準じる。

(4) 見出し番号

見出し番号の順は、原則として 1, 2, …, 1.1, 1.2, …, 1.1.1, 1.1.2, … とする。さらに小さい見出しが必要な場合は、原則として (1), (2), …, A, B, …, とする。

(5) 区切り文字, 記号等

区切り文字（コンマ、ピリオド、コロンの、セミコロン等）や記号（%, =, 不等号（<, >）等）は一般的な英語表記の原則に従う。cm等の単位は、記号ではなく、半角英文字で入力する。

(6) 注

注は、最初に出たものから順に、右肩付数字で、…†1), …†2)のように示す。文章の切れ目につける場合は、コンマ、ピリオドの直前の右肩に記す。これらの内容は、文献の前に一括して記載する。

(7) 数式

数式は、できれば「LaTeX」形式で表現する。

3.4 文献

3.4.1 本文中の記載方法

1つの文献につき1つの番号とし、本文に登場した順に通し番号を肩付き数字で…1), …2.3), …4.6)のように示す。同一文献が複数回引用される場合、同じ番号を付す。同一文献の異なる箇所を引用する場合で、それぞれのページ番号を明示したいときは、末尾の「文献」欄（次項 3.5.2 参照）ではなく、本文の中で記載する。

本文中で著者名を記す場合は、原則として姓のみとし、複数の場合には以下の要領に従う。

著者が2名：2名を「and」でつなぎ連記。 例) Kawasaki and Egusa

著者が3名以上：筆頭のみとし他は略記。 例) Kawasaki et al.

3.4.2 「文献」欄の記載方法

本文中に引用した文献資料は、そのすべてを末尾の「文献」欄に一括して掲げる。論文の読者が正確な書誌情報を理解し自らその文献を入手できるようにするため、正確に記載しなくてはならない。記載方法は、原則として以下の<記載例>に従う。

<記載例>

(1) 雑誌論文

著者名：論題名．雑誌名，巻（号），頁一頁，発行年．

1. 著者名は全員を列記し，最後の2名は and で，それ以外はコンマでつなぐ．
2. 著者名と論題名の間は，スペース・コロン・スペース（いずれも半角）．
3. 論題名と発表年の後ろはピリオド，他の区切りはコンマ．
4. 論題名は冒頭のみ語頭を大文字で始め，他は固有名詞等および副題の冒頭を除き小文字で記載する．
5. 副題はコロンでつなぐ．コロンの直後（副題の冒頭）は語頭を大文字とする．
6. 雑誌名はイタリック体とし，冠詞や前置詞を除き語頭は大文字とする．省略せず正式名称を用いる．
7. 巻はボールド体とする．
8. 頁は引用箇所ではなく論文の開始頁から最終頁（引用箇所は必要なら本文に記載）．

Scholz H and Kurtz A : Endothelium derived relaxing factor is involved in the pressure control of rennin secretion from the kidneys. *Journal of Clinical Investigation*, **91**(3), 1088-1091, 1993.

Elkins BH, Pagnotto LD and Smith HL : Concentration adjustment in urinalysis. *American Industrial Hygienist Association Journal*, **35**(3), 559-565, 1974.

(2) 図書（単著）

著者名：書名．版，発行所，発行地，発行年．

1. 著者名は全員を列記し，最後の2名は and で，それ以外はコンマでつなぐ．
2. 著者名と書名の間は，スペース・コロン・スペース（いずれも半角）
3. 書名と発表年の後ろはピリオド，他の区切りはコンマ．
4. 書名はイタリック体とし，冒頭のみ語頭を大文字で始め，他は固有名詞等および副題の冒頭を除き小文字で記載する．
5. 副題はコロンでつなぐ．コロンの直後（副題の冒頭）は語頭を大文字とする．
6. 版表示は当該図書の表示に従い（第二版，改訂版など），初版の場合は省略する．
7. 引用箇所の頁は文献欄には記載しない（必要に応じて本文中に記載）．

Aggarwal BB and Gutterman JU eds : *Human cytokines: Handbook for basic and clinical research*. Blackwell Scientific Publications, Boston, 1992.

American Psychological Association : *Publication manual of the American Psychological Association*. 6th ed, American Psychological Association, Washington DC, 2010.

(3) 編著書の一部

当該部分の著者名：当該部分の題名．編著者名，書名，版，発行所，発行地，頁一頁，発行年．

1. 著者名，編著者名は全員を列記し，コンマでつなぐ．
2. 著者名と当該部分の題名の間はスペース・コロン・スペース（いずれも半角）．
3. 当該部分の題名と発表年の後ろはピリオド，他の区切りはコンマ．
4. 副題はコロンでつなぐ．コロンの直後（副題の冒頭）は語頭を大文字とする．
5. 掲載書名（当該部分の題名ではない）はイタリック体．
6. 当該部分の題名および掲載書名ともに，冒頭のみ語頭を大文字で始め，他は固有名詞等および副題の冒頭を除き小文字で記載する．
7. 版表示は当該図書の表示に従い（第二版，改訂版など），初版の場合は省略する．
8. 頁は引用箇所ではなく当該部分の開始頁から最終頁（引用箇所は必要なら本文に記載）．

Weidner N and Buckalew VM Jr : Sickle cell anemia, sickle cell trait, and polycythemic states. In Tisher CC and Brenner BM eds, *Renal Pathology*, Vol.2, JB Lippincott, Philadelphia, 1417-1436, 1989.

Rosenberg J : Effects of medications on biological levels of industrial chemicals. In Fiserova-Bergerova V and Ogata M eds, *Biological monitoring of exposure to industrial chemicals*, ACGIH, Cincinnati, 159-162, 1990.

(4) インターネット上の情報

当該資料の作成者（著者）名：資料題名．サイト URL，資料公開年．（確認年月日）

1. 冊子体で刊行されているものがある場合は，刊行されているものを優先する．
2. 当該資料の作成者名が不明の場合は，サイト全体の作成者名を記載する．
3. 作成者名と題名の間はスペース・コロン・スペース（いずれも半角）．
4. 当該資料の題名と資料公開年の後ろはピリオド，他の区切りはコンマ．
5. 資料題名はイタリック体とし，冒頭のみ語頭を大文字で始め，他は固有名詞等および副題の冒頭を除き小文字で記載する．
6. 資料公開年が不明の場合，著作権表記があれば，原則としてその年を記載する．それも不明であれば，当該資料が公開されたと判断し得るもっとも古い年を，角括弧に入れて記載する．
7. 資料公開年とは別に，末尾に「資料をサイト上で確認した年月日」を括弧書きで付記する．

Brooks D : *Adjusting to hearing loss during high school: Preparing students for successful transition to postsecondary education or training.*

<http://www.pepnet.org/sites/default/files/20Tipsheet%20-%20Adjusting%20to%20hearing%20loss%20during%20High%20School,%20Preparing%20Students%20for%20successful%20transition%20to%20postsecondary%20education%20or%20training.pdf>, 2009. (March 15, 2015)

World Health Organization : *Global strategy to reduce harmful use of alcohol.*

http://www.who.int/substance_abuse/activities/gsrhua/en/, [2015]. (July 31, 2015)

(5) 非英語文献（日本語等）

形式は英語文献に準ずる。ただし原語ではなく原則として英語表記に直して記載のうえ、末尾に原語の種類を付記する。著者自身による英語表記がない場合、著者に確認できればそれを使用し、困難な場合は投稿者の責任で英訳する。英文要約があれば付記する。

(例 1 : 英語表記のない日本語文献)

Japan Student Services Organization : *The Summary of Results on an Annual Survey of the Study Support for Impaired Students in Higher Education in Japan.* Japan Student Services Organization, Tokyo, 2013. (In Japanese, translated by the author of this article)

(例 2 : 英文要約のある日本語文献)

Tajima M and Monri T : Relationship between competitive sports and hardiness: Comparison of the junior athletes with the undergraduate students. *Kawasaki Medical Welfare Journal*, **25**(1), 2015. (In Japanese with English abstract)

(例 3 : 英文要約のない日本語文献)

Matsuda M and Nakanii M : Literature review of preparations conducted by operating room nurses. *Kawasaki Medical Welfare Journal*, **22**(1), 103-109, 2012. (In Japanese)

3.5 図表

図表については、以下の規定に従うものとする。

(1) 原図

図表の原図は、縮小製版できるように鮮明で完全なものとする。図表が鮮明でない等不適當な場合、原稿を受理しないことがある。

(2) 番号と挿入箇所

図表は、本文とは別に、1 頁に 1 点ずつ記載し、図 1、図 2、……、表 1、表 2、……として、それを挿入する箇所を本文中の欄外（右側）に指定する。

(3) 表題と説明

図表の表題と説明は、別紙「図表一覧」に一括して記載する。その際、各図表の刷り上がり時の大きさをそれぞれ「1 ページ」「1/2 ページ」「1/4 ページ」等の要領で指示し、かつ刷り上がり時の論文原稿に占める図表の総量（何ページ分か）を明記する。

4. 原稿等の提出

初回投稿時には、すべてを揃え通しでページ番号を付した原稿 3 部と、原稿のファイル（ワード・pdf 等の印刷が容易なファイル）を事務局宛に提出する。

査読中に修正を求められた場合、査読を受けた元原稿、修正原稿 3 部、修正原稿のファイル（ワード・pdf 等の印刷が容易なファイル）を提出する。

査読の終了後は、最終原稿 3 部、最終原稿および図表のファイル（pdf 形式、および本文と表についてはワード・エクセル等の適宜テキスト形式に落とせる形式のファイル）を提出する。

5. 料金

論文掲載には費用を要しない。ただし、刷り上がり時のページ数が本規程の枚数を超過した場合、その分量に応じた超過料金を支払うこと。

別刷については、「表紙なし、30 部まで」は無料とする（※カラーページを含む場合も同様）。これを超える部分については著者負担とする。

上記の料金については内規として別に定めるので、必要に応じて事務局まで問い合わせること。別刷における表紙の有無、カラーページの扱いを含め、希望があれば事務局に相談すること。

〈川崎医療福祉学会誌編集委員会事務局〉

〒701-0193 倉敷市松島 288

川崎医療福祉大学 中央教員秘書室

Tel : 086-462-1111 (内 54996) Fax : 086-464-1109